

## <セミナーを受けると、どんなスキルが身につくの？>

このセミナーを受けられると、家庭、職場、地域の中で、家族やチームなど大切な人たちとの協力的な関係を築くことが可能となります。それは、このスキルが、あなたの根源的な他者へのアプローチを変えてしまい、以下のことを可能とするからです。

- ・他者とすばやく良好な関係（ラポール）を築き、相手の協力と信頼を得る。
- ・他者に、自ら抱えている問題を解決し目標を達成する能力を増大させる。
- ・他者に、あなたのニーズを尊重し、協力するようにさせる。
- ・組織内、あるいはクライアントと、また家族内において、脅しや罰を与えることなしに、規律上の問題や葛藤を解決する。
- ・自分の目的だけでなく、他者の目的も満たすような解決法を見つけ、実施する。ラポールを保ちつつも、相手に影響を及ぼすことができる。

「win&winの問題解決法」は、世界の紛争解決の場でも活用されたり、教育現場、ビジネス、家庭内の対人関係調整でも存分に活用されているものです。これまで、様々なコミュニケーションスキル、あるいはファシリテーション（人と組織を動かすスキル）を学ばれてきた方であれば個々に点在していたスキルや知識が、スッキリと体系化されます。

## <セミナーの内容は？>

4日間、全26時間に及ぶプログラムの中では、

- ①対人関係を更によくするための考え方とスキル
- ②相手に問題があるときに活用される考え方とスキル
- ③自分に問題を抱えてしまった時の対人関係構築の考え方とスキル
- ④互いに問題があり、葛藤と対立のある中でwin&winの解決を図るために何がいるのか、という考え方とスキル

これらを基本的なNLPの手法を入れながら学んでいくものです。

## <セミナープログラムは誰が作ったの？>

トランスフォーミング・コミュニケーションは、NLP（神経言語プログラミング）の世界的な最高峰のNLP認定トレーナーであり、トランスフォーメーションズ・インターナショナル・コンサルティング&トレーニングLtdの代表であるリチャード・ボルスタッド博士と故マーゴ・ハンブレットが構築したセミナープログラムです。

その開発過程においてリチャード・ボルスタッド博士は、ビジネスチーム、教育機関、親の会、カウンセラー、医療従事者、あるいは一般人などを対象に何百ものセミナーを指導してきました。彼はまた、ボスニア＝ヘルツェゴ

ヴィナのサラエボなどの困難な地域でもこれらの技術を教えてきました。

## <トレーナーはどんなひと?>

このコースの認定インストラクターはみな、この4日間全26時間のプログラムのほかに9日間のインストラクターコースを修了した、**国際認定NLPプラクティショナー**です。私たちは長い時間をかけて、厳しい訓練を受け、本セミナープログラムを正確かつパワフルにお届けできるトレーナーです。

このセミナーの基礎には「トランスフォーミング・コミュニケーション」というテキストを使っています。このテキストはニュージーランドでは、修士課程など教育機関で使われており、協力的な関係を築くための効果的かつ最新のテクニックを教えるのに役立っています。また、バンク・オブ・ニュージーランドなどの大手企業やニュージーランド小売業協会、ウェリントン・トラスト(ニュージーランドのウェリントンを本拠とし精神障害者サポートサービスを行う)やニュージーランド税務局などの団体、またアメリカやニュージーランドの数々の学区でも使われています。

セミナープログラムのトレーナーはヨーロッパ、アメリカ、アジア、オセアニアの各地で活躍しています。

このTransforming Communicationを開催することができた日本人はこれまで2名しかいませんでした。しかし、2011年の夏、長年学びを積み上げてきた日本人19名がいよいよ認定トレーナーとしての資格を得て、活動を開始します。私、川端美智子もまた、その一人です。

この21名によって、日本の様々な場所でセミナーが開催され、Transforming Communicationが将来、コミュニケーションスキルの中心的なスキル体系として位置付けられることになるでしょう。

私は、トレーナーとして、人が人となつなりたい、お互いに持っているものを尊重し合いたい、愛と信頼を持って社会、地域、職場、家庭を作りたいという強い思いを持っています。

また、私が他のトレーナーより重視するのは、ジェンダーの視点を絶対にはずさないということです。“女性だから”という意識は、成長の過程で潜在意識の根底に刻まれてしまい、私たちが自分を生きるための価値観の障害として存在します。この根深い価値観が、私たちの人間関係のあり方、生活や仕事に多大な影響を与え、生きづらさにつながります。(この視点のあるトレーナーは本当に少ないのです。)私は、この分野における専門家として性別にかかわらず、ひとり一人を大切にしながら、ジェンダーの視点での解釈を取り入れながら、受講される方々の思いや課題を解決するお手伝いをしています。

※ジェンダーとは ジェンダー 社会的・文化的に作られた性差 女性の生きづらさのもと、男性もまた同じく感じている生きづらさを作る価値観

「男／女に人間を分割する分割線、つまり『性別』を意味する名詞」であり、「異なっているが対等だという類いの区分ではなく、タテ型の階層制そのものであって、いうまでもなく男が標準、普通、主であり、女は差異をもつ者、特殊、従である」とし「ジェンダーはまぎれもなく男か女かの二分法になっており、しかも前述のように両性のあり方は対称ではなくタテの階層性をもつ」（大沢真理：東京大学社会科学研究所教授『21世紀の女性政策と男女共同参画社会基本法 改訂版』ぎょうせい）

また、このトレーニングプログラムを根底で動かすファシリテーションスキルなども、十分に活用し、みなさまの仕事や日常生活に活かしていただけるように進めてまいります。

今回は、私のトレーナーとしての初回（トライアル）開催となるため、参加費用については大変受けやすい費用としました。

参加いただく方については、本セミナーに興味のあることはもちろんですが、

- ・全行程に参加いただけること
- ・トレーナーに対してのフィードバックをいただけることをお願いするものです。